

## 議事録兼報告書

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 会議名称   | 伊那市行政改革審議会                      |
| 日時   | 平成26年9月19日(火) 13:30～15:25       |
| 場所   | 庁議室                             |
| 欠席者  | なし                              |
| 議題   | (1) 平成26年度伊那市事務事業外部評価報告書(案)について |
| 議事内容   |                                 |
| <p><b>1 開会(行政改革推進室長)</b></p> <p><b>2 あいさつ(上野山会長)</b></p> <p><b>3 協議事項</b></p> <p>(1) 平成26年度伊那市事務事業外部評価報告書(案)について<br/> —平成26年度伊那市事務事業外部評価報告書(案)(以下「報告書」という。)に基づいて<br/> 会長より説明—<br/> &lt;&lt;事務事業について&gt;&gt;</p> <p><b>【選挙事務】</b></p> <p>(委員) 選挙立会人の手当が業務に対して高額ではないか。<br/> (事務局) 1日拘束されることを考えた場合に高額であるか判断が難しい。手当では国の示す基準に基づいて支払われている。引き続き検討をしていく必要がある。<br/> (委員) 投票所の有権者数によって大小がある状況があり、同じ経費をかけて投票所が設けられていることについては見直しを進めなければならないと感じる。<br/> (会長) 選挙の大小はあっても従事する職員の最小限は確保しなければならない。担当課においても投票所の検討を進めている。<br/> (事務局) 今後、地元と語りながら調整を進めることになる。<br/> →◎<u>報告書(案)のとおり</u>でよい。</p> <p><b>【商工業振興補助】</b></p> <p>(委員) 報告書の実績費と事業費の整合が取れていないため確認願いたい。<br/> (事務局) 確認をして訂正する。<br/> (委員) 行政の役割として補助金を適正に支出することまででよいのか。その後の効果を把握すること、課題を解決することまで携わる必要があるのではないか。<br/> (委員) 補助金を交付したものがどのような成果があったか、駄目だったものは何故駄目だったのかを検証しなければならない。<br/> (委員) どういう事業を行ったのか、評価を受ける側として成果を示す必要がある。<br/> (委員) 行政が評価の分析を行うべきか疑問である。主体は補助の交付を受けた事業者であり、</p> |                                 |

成果については事業者が評価しなければならないのではないかと。行政は事業者に成果を示すよう指導しなければならない。

(副会長) 行政として補助金交付の効果を評価する必要があるが、受益者であり事業主体者である商工事業者が評価に携わる必要がある。

(会長) 評価結果について提案を受けた意見を補足として加える。

→◎報告書(案)のとおりでよい。

#### 【除雪機械購入補助】

(委員) 平成25年度は補助金額が増加しており、補助を必要とする住民がいる中で終期を設定することは疑問である。

(委員) 補助金を受けて購入した除雪機の状況を把握出来ていない。棚卸をして地域ごとの配分状況が適正か確認する必要がある。

(会長) 生活道路の除雪は必要であるが、自助努力による共同作業は必要である。

(委員) 高齢のため除雪ができない人もいる。

(会長) 漫然と申請があれば補助を出す制度であれば見直す必要があるため、終期設定を設け補助制度を考えることを評価結果としている。

(委員) 本事業の事業主体は地域であり、基準を大きく変えずに制度が15年続いている。基準を変えずに補助制度が継続されることは適切ではない。積雪量が多い地区や除雪面積が広い地区に特定するなど、別の基準を設け制度を変えていく必要がある。

(事務局) 基準を設けて制度の見直しをすることを評価結果として加える。

→◎報告書(案)のとおりでよい。

#### 【学童クラブ管理】

→◎報告書(案)のとおりでよい。

#### 【公民館図書館管理】

(委員) 公民館図書館は子どもの居場所の一つになっている。学童クラブ同様に役割が大きいと感じる。本館一つへの絞り込みについて疑義がある。

(会長) 今後、分館の蔵書を増やすのであれば本館一つに絞り込むべきであるという考えで、現在ある機能を無くすという考えではない。現行の図書館分館は公民館活動の一環と感じる。

→◎報告書(案)のとおりでよい。

#### 【南アルプス林道バス運行】

(委員) 収益は黒字であるが、駐車料金を有料化する必要があるのか。

(事務局) 駐車場敷地は国の土地と一部借地があることや、利用者の多くが市民ではないこと、バスの更新などに費用を要することなどから、今後、検討していかなければならない。

(委員) 国から借りている河川敷を有料化することはできるのか。

(会長) 今後も研究していかなければならない問題である。

(委員) 駐車料金というより駐車場管理費という意味合いの方が強い。一般会計からの繰り出しもあり、実際の収支は黒字ではない。将来的には民間委託なども視野に入れなければならない事業である。

→◎報告書(案)のとおりでよい。

《総括的な意見について》

**【外部評価の方法について】**

特に意見なし

**【事務事業について】**

(委員) 商工業振興補助などはテーマが大きすぎる。時間的な制約があるので適正規模の事業を評価するよう検討されたい。

(委員) 行政改革大綱にある財政健全化、職員の意識改革、行政システムの在り方などについては、行政改革審議会で審議するものと考えているが、今年度の事務事業の中ではこれらを果たすための評価には繋がりにくいと感じた。

(委員) 選挙事務や学童クラブについてはすでに検討が行われている。また南アルプス林道バス運営は関係省庁との兼ね合いなどもあり評価がしづらい。本年度の事務事業は評価するタイミングとしては適当ではない。

(会長) 本審議会においても担当課が同席すれば細部にまで話を聞くことができる。

(委員) 事務事業の選定はどのように行われているのか。

(事務局) 事務局が原案を作成し、理事者の決裁を受けて本審議会に諮っている。

(委員) テーマの捉え方、事業の選定の仕方などが不明確。委員が事務事業選定にまで携わることができればよい。

(事務局) 次年度以降の事務事業の選定において充分検討を行う。

(3) その他

(事務局) 本日御指摘いただいた意見をもとに報告書(案)を加筆修正し、報告書(修正案)を郵送するので御確認をお願いしたい。また、市長への報告については、後日、会長に対応していただく予定である。

**4 その他**

**5 閉会(上野山会長)**

以上